



▼園児たちの前で力強くきねを振るう消防団員



防火もちつきで火災予防

町消防団と若草保育園幼年消防クラブ

11月8日（金）若草保育園（元村健正園長104人）で防火もちつきが行われました。同イベントは11月9日（土）～15日（金）の「秋の全国火災予防週間」に合わせて、町消防団（池田実団長448人）が幼年消防クラブを設置している同園で実施。団員とのもちつきを通して、消防団活動への理解と協力、火災予防の呼び掛けなどを目的として行われ、本部役員や保護者なども参加しました。

園庭で園児たちの大きな掛け声に合わせて、団員たちが威勢よくもちつき。園児たちも交代できねを振るい、火災予防の願いを込めて力強くつきました。

もちつき後、消防自動車の乗車体験を兼ねて、園児たちが町内の福祉施設などを訪問し、防火ポスターを配布。訪問先の施設入居者などの前で整列した園児たちは、「火遊びは絶対にしません」と大きな声で宣言し、火の用心を呼び掛けました。

バス乗降体験楽しかったよ

令和元年度「子どもふれあいデー」

10月27日（日）町民センターで令和元年度「子どもふれあいデー」が開催されました。

同イベントは、子どもたち同士のふれあいを通して、児童らに優しい心や協調性を育んでもらうことを目的として町が毎年開催。町内各小学校の児童や保護者ら165人が参加しました。

参加した児童らは、熊本バス株式会社の協力により行われた公共バスへの乗降体験や射的ゲーム、綿菓子作りなどを通じた交流を楽しみました。



▲町民センターで公共バスについて説明を受ける参加者ら



▲コミュニケーションについて講演する村上美香さん

相手に伝える技術を学ぶ

甲佐町ボランティア連絡協議会総会および講演会

11月7日（木）町生涯学習センターで甲佐町ボランティア連絡協議会総会および講演会が開催されました。

同協議会（赤星眞照会長）は、本町のボランティア間の連携強化を通して地域社会の福祉増進を図ることを目的に、昨年度から新たな体制で活動。総会では昨年度の活動報告などが行われました。

講演会では、村上美香さん（ヒトコト社）が「もっと分かる！伝える！コミュニケーション」と題して講演。参加者118人は、村上さんがアナウンサー経験を通して培った、伝える技術について学びました。

健康増進と異世代交流の12^キ□

10月25日（金）甲佐町ナイトハイクを開催

10月25日（金）、甲佐町ナイトハイクが開催されました。

青少年の育成と心身の鍛錬を行うとともに、健康増進および異世代交流、また家族の触れ合いを深めることを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議と町教育委員会が主催。

町生涯学習センターを発着とし、午後7時に出発。益城橋を渡って美里町の二俣五橋で折り返し、日和瀬橋を渡って戻る約12^キ□のコースを約200人が歩きました。到着後には、本町の特産品などの参加賞が配られました。



▲町生涯学習センターを笑顔で出発する参加者ら



▲鈴木事務所長（左）へ要望書を手渡し奥名町長

洪水から地域の暮らしを守るために

国土交通省熊本河川国道事務所に要望書を提出

11月1日（金）国土交通省熊本河川国道事務所へ、本町を貫流する一級河川緑川の管理を行う同事務所に対して、河川整備促進などについての町の要望活動を行いました。

町は、主に①洪水に備えた堤防の整備、②総合運動公園整備などのかわまちづくり支援事業の協力的体制継続、③防災ステーションの整備、④内水対策に伴う排水機場および排水ポンプの整備の支援協力、⑤河川流量を確保するための浚渫（しゅんせつ）および樹木伐採について要望。奥名克美町長から鈴木学熊本河川国道事務所長に要望書を手渡しました。

ドラ・パト隊の活動を全国に発信

全国防犯ボランティアフォーラム2019



▲全国防犯ボランティアフォーラムで龍野地区防犯パトロール隊の活動を紹介する北川隊長（右）と市下隊長

10月26日（土）神奈川県で開催された全国防犯ボランティアフォーラム2019で、龍野地区防犯パトロール隊「ドラ・パト隊」（北川國昭隊長）が活動報告を行いました。

同フォーラムは、全国各地の自主的な地域防犯活動の先進的な取り組みについて他団体と共有することを目的に警察庁が主催しており、今回で14回目。全国各ブロックで開催された防犯ボランティアフォーラムから選出された、7団体が活動報告や意見交換を行いました。

九州ブロック選出の同隊は、龍野地区社会福祉協議会が中心となって平成20年に発足。防犯ベストや帽子、たすき、腕章などを身に付けて散歩や買い物などをする「ながらパトロール」や地域の子どもたちの見守り活動などを実施しています。

また、熊本地震以降は、青色回転灯装備車両を活用して町内の仮設団地の巡回パトロールを行うなど、地域の現状を踏まえた防犯活動を展開していることなどが高く評価されて、今回の選出となりました。